

石屋工務店 かわら版

第131号

H27年 11月 17日 発行

石屋工務店

TEL 075 492-1483

京都市北区大宮薬師山東町 47-5 建設業/京都府知事(般-25)第 31625 号 インテリアコーディネーター登録店

料人 石屋の多趣味人生

その 107

タンノイオートグラフ

イギリスのオーディオメーカーにタンノイ社があります。約一〇〇年の歴史がある老舗のメーカーです。タンノイの得意分野はスピーカーです。それもコアキシャルと呼ばれる同軸のスピーカーです。専門用語で解りにくいのですが、簡単に言えば二つのスピーカーを一つにした物です。見た目は一個のスピーカー。その中に高音と低音のスピーカーが巧妙に仕込んであります。世界的にも珍しい形で最近作っているメーカーはほとんどありません。このスピーカーの良さは音が一ヶ所からしかでませんので定位が良い事です。独特の音場の為マニアックなファンが多数います。かく言う私もそんな一人です。そのタンノイの中でも歴史的に有名な「オートグラフ」と言うスピーカーです。一九五三年に最初造られたスピーカーで現在

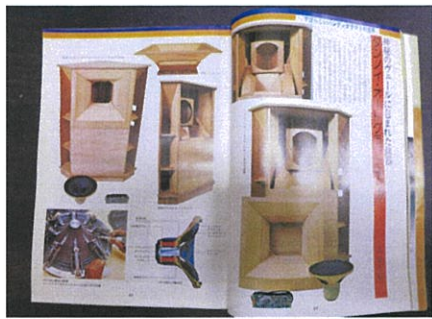


は制作されています。そんなマニアの為に雑誌に造り方が解説されていました。一九七六年刊行の雑誌です。私が高校時代の物です。いつかは作ってやろうと大切に保管していましたが、たぶん作る事は無いと思いましたが、ただこの様な雑誌を見ていると時代の頃の楽しい思い出が蘇ってきます。ちなみに、現在我が家にオートグラフは鎮座しております。興味のある方は聞きに来て下さい。

石屋 紀次



多岐にわたる趣味を持つ石屋の人生。その中でもオーディオへの情熱は、数十年前から続いている。特に、タンノイのスピーカーには特別な思い入れがある。その歴史と音の良さを、雑誌や書籍を通じて知り、憧れを抱き、最終的に自宅に導入した。その過程と、オーディオの世界の魅力について、石屋紀次が語る。



秋の野山

先日、久しぶりに山登りに出かけました。山登りと言っても



本格的な装備が必要な訳でなく、家から登山口まで歩いて行ける近場の山です。持久力の無い私は普段はお断りするところですが、気候も程よく、毎日の窓から山々を眺めていると、ふと登ってみたいか、という気持ちになりました。熊よけの鈴の付いた長棒を持ち、リュック

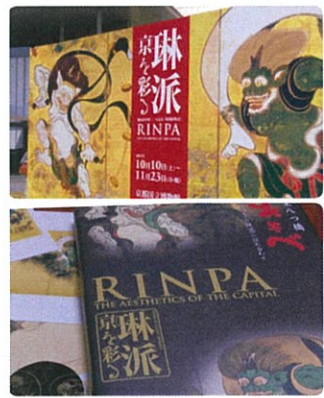
を背負って頂上を目指し出発。思っていたより急な斜面もあり、普段使わない筋肉をフル稼働させているのに気がきました。あちこちに巨大な『さるのこしかけ』が生え、野鳥のさえずりやキツツキが木を突く音が聞こえてきます。山はとても静かで空気も澄み、『もののけ姫』のお

岩松 美紀

琳派

京都は今「琳派」で大賑わいです。私も琳派を観に、京都国立博物館へ向かいました。バスか京阪電車を選んで行きませんでした。そんなに混んでいないと思っていたら大間違いで大層な人。結局博物館入口を通り越して東山七条まで行列が...。それでも開館に合わせて行ったので、わりと

電車かで悩み、楽な電車をを選んで行きませんでした。そんなに混んでいないと思っていたら大間違いで大層な人。結局博物館入口を通り越して東山七条まで行列が...。それでも開館に合わせて行ったので、わりと



修学院離宮

修学院離宮へ行きました。地元からも近く、昔から気になつていたものの、一度も訪れたことがなく。たまたま友人と話をしていた時に、離宮は予約をしなければ観覧できない場所だと聞き、「それなら絶対行きたい!」と思つたら必死に応募していました。初回は落選しました。最も見頃なのは、秋の紅葉シーズンなので来年まで諦められず、オンライン枠と

窓口枠で別々に抽選して下さい。ハガキや宮内庁へ直々に行き、二度目で観覧当選。最後まで粘つてよかったです。当日は、宮内庁の方に囲まれながら三十人ほどが一組となつて九十分間離宮内を案内して下さいました。こんな壮大な敷地があり、歴史や自然を感じる場所があるのだと思うと感激しっぱなしでした。宮内庁の方も楽しく説明して下さいました。



で色々印象に残り、紅葉も美しかったので、とても良い経験ができたと思います。

中島 あゆ美

おやつ時間

弊社の古野がセブインレブンでドーナツを買ってきました。私は白バラコーヒードーナツを食べました。おしいかったです。社長は事務所にいなかったため、たので食べられませんでした。古野はいい人です。

高野 圭亮

中島はふわもちリングドーナツを食べていました。砂糖がかかっていました。その時事務所にいた花屋さんは塩キャラメルドーナツを食べていました。塩キャラメルがかか

